

令和 6 年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1 ページ以内に収まるよう作成

団体名	(認定) 特定非営利活動法人 S H I P		
団体の属性	☒ セルフヘルプグループ・当事者等 ☐ ボランティアグループ等		
	☐ 市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	☒ 一般助成 ☐ 協働モデル助成	協働モデル助成 本会提示テーマ	
助成事業名	福祉における性的マイノリティの理解増進と介護カフェ事業		
事業の目的	LGBTQ など性的少数者は人口の 3～5% と言われているが、一般社会の偏見や差別のある中で正しい情報を得ることができないばかりか、障害・生活困窮に関する行政・福祉サービス利用につながる上でセクシュアリティが障壁となっている。 当事業では、介護を受けている人や親やパートナーの介護に携わる性的少数者、または性的少数者に理解のある援助者等が集う場所であり、介護者が、何もせずにゆったりと過ごすこと、高齢者の介護に伴う悩みや疑問を他の利用者と語り合うこと、容易に介護に関する知識を得ること等を通じて、介護者の心身の負担が軽減されることを目的とする。		
事業概要	(1) 地域のネットワークの構築 地域の福祉職のひととのネットワークづくりを行うために、県内 3 箇所で性的マイノリティ理解に向けた説明会を開催。前半は当団体の星野慎二から性的マイノリティの基礎知識と現状について説明し、後半は介護福祉士の松尾ゆみ氏から介護の現場における性的マイノリティの対応事例の講義を行う。 ① 川崎市宮前区社会福祉協議会、令和 6 年 10 月 19 日(土) 14～15 時、参加者 7 人 ② 厚木市民交流プラザ、令和 6 年 11 月 27 日(水) 18～19 時、3 人 (後援 厚木市) ③ 藤沢市役所、令和 6 年 12 月 16 日(月) 10～11 時、1 6 人 (後援 藤沢市) 合計 2 6 人 (2) 介護カフェの開催 LGBTQ 当事者や介護に携わる方が自由に集い介護や福祉サービスについて話ができるカフェを県内 3 地域において計 6 回開催。介護に関する相談に対応できるよう、性的マイノリティ理理解があり、介護の仕事をしている松尾ゆみ氏(介護福祉士)にアドバイザーとして入っていただいた。 2024 年 11 月 16 日(土) 川崎市宮前区社会福祉協議会 参加者 7 人 12 月 16 日(火) 厚木市民交流プラザ 参加者 0 人 2025 年 1 月 7 日(土) 川崎市宮前区社会福祉協議会 参加者 4 人 1 月 13 日(月・祝) かながわ県民センター 参加者 6 人 2 月 8 日(土) 厚木市民交流プラザ 参加者 1 人 3 月 2 日(日) かながわ県民センター 参加者 0 人 合計 1 8 人		
成果や課題	事前説明会の参加者の職種は「福祉職」13 名(50%)、「行政職員」6 名(23%)、「医療」1 名(4%)で、性的マイノリティテーマにしたイベントに初めての参加が 10 名(38%)であったことから、性的少数者への理解を高めることができた。藤沢会場でご協力頂いた藤沢市から、令和 7 年度の介護職向けの研修の依頼があり、行政の中においても新たな動きができていることから、医療・福祉や行政との新しいネットづくりができつつある。課題としては、インターネット上でトランスジェンダーの人々への差別や偏見、攻撃を助長するヘイトスピーチが増えていることから、今まで性的マイノリティに関する知識のない方の理解を高めていく事が重要と考えられる。また、介護カフェの参加者で LGBTQ 当事者が少ないことから、介護の問題に直面している当事者への周知のあり方も考えていく必要がある。		
今後の展望	助成事業を通じて、神奈川県社会福祉協議会をはじめ、川崎市宮前区社会福祉協議会や藤沢市社会福祉協議会との繋がりができたことにより、関係機関や地域の支援者との連携を更に深めていきたい。 また、介護カフェは今後も定期的に開催していき、そこで得られた当事者の声を基に、啓発リーフレットを作成し、福祉関連の事業所に配布して理解促進につなげたい		
活動の様子が分かる画像 2 枚程度添付	<説明会のチラシ>  <介護カフェのチラシ> 		